



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 常磐興産株式会社
 コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 順一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート部門担当 (氏名) 下山田 敏博

TEL 03-3663-3411

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,241	40.0	846		831		1,481	
2020年3月期第1四半期	5,397	23.1	276		250		237	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,281百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 428百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	168.71	
2020年3月期第1四半期	26.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	51,868	12,130	23.3
2020年3月期	48,245	13,588	28.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,094百万円 2020年3月期 13,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		20.00	20.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,808,778 株	2020年3月期	8,808,778 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	24,945 株	2020年3月期	24,940 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	8,783,835 株	2020年3月期1Q	8,784,137 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業業績や雇用環境の悪化、さらには感染拡大第2波の懸念等が景気の先行きを一段と不透明にしているほか、現在も世界的な感染拡大の収束の見通しが明確に立っておらず、極めて厳しい状況にて推移いたしました。

このような状況において、スパリゾートハワイアンズにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による政府の緊急事態宣言発令を受け、当第1四半期連結累計期間のほぼ全期間にわたって日帰り施設、宿泊施設全てを臨時休館いたしました。

燃料商事事業につきましては、主に石炭販売数量の大幅な増加により増収増益となり、製造関連事業及び運輸業につきましては、概ね堅調に推移いたしました。

この結果、基幹事業であるスパリゾートハワイアンズの臨時休館により、当第1四半期連結累計期間の売上高は32億41百万円（前年同期比21億56百万円、40.0%減）、営業損失は8億46百万円（前年同期は営業損失2億76百万円）、経常損失は8億31百万円（前年同期は経常損失2億50百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、14億81百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億37百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[観光事業]

スパリゾートハワイアンズにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による政府の緊急事態宣言発令を受け、4月8日から6月30日まで日帰り施設、宿泊施設全てを臨時休館いたしました。

利用人員につきましては、日帰り部門は2千人（前年同期比267千人、99.0%減）となり、宿泊部門は4百人（前年同期比95千人、99.5%減）となりました。

スパリゾートハワイアンズ・ゴルフコースは、感染症対策に努めながら営業を行っていたものの、スパリゾートハワイアンズの臨時休館に伴い、宿泊ゴルフパックの販売を中止したこと、併せて新型コロナウイルス感染拡大の影響により地元圏におけるコンペやプレーの自粛基調も重なり、利用人員は5千人（前年同期比7千人、57.5%減）となりました。

この結果、当部門の売上高は、87百万円（前年同期比25億3百万円、96.6%減）となり、営業損失7億24百万円（前年同期は営業損失99百万円）となりました。

尚、スパリゾートハワイアンズは「お客様と従業員、関係者の方々の健康と安全を最優先」とし、7月1日に日帰り施設、宿泊施設〔モノリスタワー・ホテルハワイアンズ〕を再開いたしました。

[燃料商事事業]

石油部門につきましては、主力納入先の消費が減少し、販売数量が減少したものの、石炭部門につきましては、電力会社向け販売数量が大幅に増加し、増収となりました。また建設資材部門及び発電事業につきましては、堅調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は、22億84百万円（前年同期比3億64百万円、19.0%増）、営業利益は33百万円（前年同期比22百万円、209.3%増）となりました。

[製造関連事業]

トラック向け製品の販売数量が減少しましたものの、主に国内向け船舶用モーターの販売数量が増加したことにより増収となりました。

この結果、当部門の売上高は4億11百万円（前年同期比1百万円、0.5%増）、修繕費等の増加により、営業利益は24百万円（前年同期比6百万円、20.2%減）となりました。

[運輸業]

港湾運送部門につきましては、発電所向け電力炭輸送及びセメント関連輸送が堅調に推移しましたものの、主に石油小売部門につきましてガソリンの価格下落及び需要減により減収となりました。

この結果、当部門の売上高は、4億55百万円（前年同期比20百万円、4.3%減）、運送車両燃料費等の減少により、営業利益は18百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

[アグリ事業]

アグリ事業につきましては、ミニトマトの試験販売を行いながら、本格営業に向けて準備を進めてまいりました。

この結果、当部門の売上高は、1百万円（前年同期は売上高なし）、営業損失は11百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ36億22百万円増加し、518億68百万円となりました。これは主に、現金及び預金と受取手形及び売掛金の増加によるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ50億81百万円増加し、397億38百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14億58百万円減少し、121億30百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。連結業績予想が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,214	6,346
受取手形及び売掛金	2,074	2,299
たな卸資産	462	450
その他	258	346
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,009	9,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,511	12,376
土地	14,699	14,699
その他(純額)	2,963	3,029
有形固定資産合計	30,175	30,105
無形固定資産		
	190	179
投資その他の資産		
投資有価証券	5,012	5,296
投資不動産(純額)	6,270	6,269
退職給付に係る資産	209	215
繰延税金資産	62	54
その他	1,868	1,856
貸倒引当金	△1,554	△1,554
投資その他の資産合計	11,869	12,138
固定資産合計	42,235	42,424
資産合計	48,245	51,868

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,550	2,049
短期借入金	3,567	9,088
未払法人税等	89	17
賞与引当金	351	379
災害損失引当金	17	17
その他	1,824	1,781
流動負債合計	7,401	13,334
固定負債		
長期借入金	22,246	21,382
繰延税金負債	1,998	2,080
退職給付に係る負債	54	53
資産除去債務	507	501
その他	2,449	2,385
固定負債合計	27,255	26,403
負債合計	34,656	39,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	3,577	3,577
利益剰余金	7,356	5,698
自己株式	△38	△38
株主資本合計	13,036	11,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546	744
土地再評価差額金	△2	△2
退職給付に係る調整累計額	△29	△26
その他の包括利益累計額合計	515	715
非支配株主持分	36	35
純資産合計	13,588	12,130
負債純資産合計	48,245	51,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,397	3,241
売上原価	4,791	3,614
売上総利益又は売上総損失(△)	606	△373
販売費及び一般管理費	883	472
営業損失(△)	△276	△846
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	100	97
持分法による投資利益	9	10
不動産賃貸料	29	27
その他	4	6
営業外収益合計	144	142
営業外費用		
支払利息	97	107
不動産賃貸費用	16	15
その他	3	4
営業外費用合計	117	127
経常損失(△)	△250	△831
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	21	—
助成金収入	—	28
特別利益合計	22	28
特別損失		
固定資産除却損	0	14
投資有価証券評価損	3	—
臨時休園による損失	—	646
特別損失合計	3	660
税金等調整前四半期純損失(△)	△231	△1,463
法人税、住民税及び事業税	5	9
法人税等調整額	1	8
法人税等合計	6	18
四半期純損失(△)	△238	△1,481
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△237	△1,481

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
四半期純損失（△）	△238	△1,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192	197
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△190	199
四半期包括利益	△428	△1,281
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△427	△1,282
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	アグリ事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,591	1,920	410	476	—	5,397	—	5,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	89	—	11	—	102	△102	—
計	2,592	2,009	410	488	—	5,500	△102	5,397
セグメント利益又は損失(△)	△99	10	31	△1	△3	△62	△214	△276

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△214百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△214百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	観光事業	燃料商事 事業	製造関連 事業	運輸業	アグリ事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	87	2,284	411	455	1	3,241	—	3,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	65	—	5	—	72	△72	—
計	88	2,350	411	461	1	3,313	△72	3,241
セグメント利益又は損失(△)	△724	33	24	18	△11	△658	△187	△846

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。